

妊娠期の社会経済的要因が妊婦の生活習慣や胎児の発育および健康状態に及ぼす影響に関する観察研究

(京都医療センター倫理委員会受付番号: 15-020、平成27年4月20日承認)

本研究の目的

生活習慣病に関する血液生化学的分析・遺伝子分析を進め、「妊娠期の生活の中で、何が、どの程度、生まれてくる児の健康状態に影響を与えるのか」について調べる。

研究概要

近年、諸外国では、社会経済的状况によって妊娠期の生活習慣や精神的負担が左右され、出産までの経過や胎児の発育に関係するという研究結果が報告されています。また、妊娠期の食事や生活習慣が、胎児の成長だけでなく将来の生活習慣病にも影響するという報告もあります。しかしながら日本においてはまだ十分な研究は行われておらず、妊婦の方がおかれる生活状況と生まれてくる児の健康状態との関連はまだ十分に明らかになっていないのが現状です。

本研究では、社会経済的状况や食事・生活習慣のアンケート結果に加え、通常診療で行う体重や血液検査の健康情報、血液検査後の残血を収集するとともに、分娩時に廃棄する胎盤と臍帯血の一部を保管しています。その一部を用いて、脂質代謝関連(中性脂肪、コレステロール、ホルモン)等の遺伝子解析を行っていきます。但し、食事調査の結果を除き、遺伝子分析などの特殊な解析結果は個人へ通知いたしません。

対象

平成27年5月26日～平成29年7月7日までに、本研究に同意した方

研究参加を撤回する場合

本研究の対象となる方は、すでに書面にて同意を得ておりますが、下記問い合わせ先に連絡することによって、研究参加を撤回することが可能です。

問い合わせ先

国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室 研究員: 林 育代

電話: 075-641-9161(代表)

研究機関／研究責任者

国立病院機構京都医療センター産科婦人科 医師: 山口 建